**万博協力室**

**総務企画グループ**

**１　室の庶務事務及び総務事務**

室の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、

当該事務の円滑な執行に努めた。

室内各グループの業務の総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

また、2025年大阪・関西万博推進特別委員会にかかる調整、国際博覧

会担当大臣等要人の受け入れ等を行い、円滑な事務執行に努めた。

1. 主な備品の購入状況

なし

**２　公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の関係事務**

「平成三十七年に開催される国際博覧会の準備及び運営のための必要

な特別措置に関する法律（平成三十一年法律第十八号）」に基づき、2025年日本国際博覧会の準備・運営法人として指定された公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に対する人員派遣、会場建設費補助金交付、連絡調整などの関係事務を所掌し、当該事務の円滑な執行に努めた。

**３　大阪府万博推進本部の運営**

知事を本部長、副知事を副本部長に、万博の成功に向けて、関連す る大阪府の施策を円滑に推進する全庁組織として平成30年度に「大阪府万博推進本部」を設置し、府施策の総合的推進を図っている。

（※令和2年度の会議開催実績なし）

**事業推進グループ**

**１　大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する検討**

大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展の検討を進めるにあた

り、様々な分野の有識者の方から幅広く意見を伺うため、大阪市と共同

で「大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話

会」を令和元年12月に設置し、出展の方向性やその骨格をまとめる上で

必要となる事項について意見交換を行った。本懇話会における議論等を

踏まえ、令和３年３月に「出展参加基本構想」を策定した。

【大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会委員等名簿】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 職　名 |
| 委員（11名） | 東　博暢 | 株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル |
| 大西　流星 | 株式会社ジャニーズ事務所所属なにわ男子メンバー |
| 佐久間　洋司 | 大阪大学学生 人工知能研究会／AIR代表 |
| 澤田　裕二 | UG WORK 合同会社 代表／プロデューサー |
| 鈴木　裕子 | 株式会社Office musubi 代表取締役 |
| 巽　樹理 | 追手門学院大学 社会学部 准教授 |
| 遠山　正彌 | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 理事長 |
| Nigel D.R.Simpson | 公益財団法人大阪観光局 大阪観光アドバイザー |
| 西澤　良記 | 公立大学法人大阪 理事長 |
| 橋爪　紳也 | 大阪府立大学 研究推進機構特別教授大阪府立大学 観光産業戦略研究所長 |
| 森下　竜一 | 大阪大学大学院医学系研究科 寄附講座教授 |
| 特別アドバイザー（３名） | 髙橋　政代 | 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 |
| つんく♂ | 音楽家、総合エンターテインメントプロデューサー |
| 山中　伸弥 | 京都大学iPS細胞研究所 所長／教授 |

※敬称略 50音順による

【大阪・関西万博におけるパビリオン等地元出展に関する有識者懇話会開催経過】

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 議題 |
| 令和２年６月16日 | ・出展参加テーマについて・出展参加基本構想（たたき台）文案について |
| 令和２年９月８日 | ・出展参加基本構想（たたき台）文案について・「バーチャル大阪館」について・レガシ―について・オール大阪の組織について |
| 令和３年２月19日 | ・出展参加基本構想（案）について・パビリオン出展参加検討のための情報収集の取組みについて　・バーチャル大阪館（仮称）について |

また、令和３年２月に、地元大阪が出展するパビリオン及び関連事業 の企画を行い、パビリオン出展が世界に向けた大阪のアピール並びに大阪の成長及び発展に寄与することを目的に、「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会」を設立した。

【2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会役員等名簿】

|  |  |
| --- | --- |
|  | 職　名 |
| 会長 | 吉村　洋文　大阪府知事 |
| 会長代行 | 松井　一郎　大阪市長 |
| 顧問 | 松本　正義　公益社団法人関西経済連合会会長 |
| 顧問 | 尾崎　裕　大阪商工会議所会頭 |
| 顧問 | 深野　弘行　一般社団法人関西経済同友会代表幹事 |

**２　ロゴマークを活用した機運醸成の取組み**

令和元年度に博覧会協会が実施したロゴマークの公募に際し、幅広い

年齢層に応募を促すための広報活動を実施。5,894作品の応募から、一

般意見募集に寄せられた6,572件のご意見を参考に、令和２年８月の最

終選考会で最優秀作品が決定した。

現在は、府民、企業等が使用できるよう博覧会協会のホームページに

て使用申請を受け付けている。ほか、ピンバッジ、ポスター、ミニのぼ

りを府内市町村や関係者へ配布し、着用や掲示を通して府全体の機運醸

成を図った。また、ペンなど身近なアイテムをイベント時に府民へ配布

し、個人へのＰＲも着実に行った。

**３　「万博の桜2025」の取組み**

大阪・関西万博への期待感や機運を高めることを目的に、建築家の安

藤忠雄氏、大阪府知事等が呼びかけ人となり設置された「万博の桜2025

実行委員会」により、府民・市民や法人へ募金協力依頼を実施。令和２

年11月には、井上信治国際博覧会担当大臣等の出席を得て、花博記念公

園鶴見緑地にて植樹式を開催した。

**４　大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成・情報発信の取組み**

大阪・関西万博の開催に向けて府民一人ひとりの参画意識や期待感な

ど機運醸成を図るために、博覧会協会とも連携し、庁内部局をはじめ様々な主体が実施する各種のイベント開催機会を捉えＰＲ活動を展開した。

また、令和３年に開催のドバイ万博にて、日本のナショナルデーとなる「ジャパンデー」（12月11日）において、大阪の多彩な魅力を広く世界に発信することを目的に、民間事業者等の知識やノウハウ等を活用するため、令和３年３月に企画提案公募による受託事業者の募集を開始した。

**整備グループ**

**１　会場建設や関連事業の検討・調整**

会場建設に関する調査、設計等を実施する博覧会協会に対して、補助金交付要綱にもとづき、会場建設費を支出した。

万博関連事業である夢洲南エリアの追加埋立の実施に関しては、実施

　　主体である大阪市や博覧会協会と工事調整を行うとともに、大阪市と追

加工事の費用負担に関する協定書を締結した。また、本協定書にもとづ

き、大阪市に対し負担金を支出した。

その他、大阪市が事務局を担う「夢洲等まちづくり事業調整会議」に

おいて、博覧会協会やインフラ事業者などの関係機関とともにＩＲ事業

も含めた工事調整を行った。

**２　交通アクセス検討**

博覧会協会が事務局を担う「来場者輸送計画検討会」において、国・

府・市などの関係機関とともに、万博開催中の交通需要予測にもとづき、

鉄道、自家用車、シャトルバスなどによる来場者の輸送計画の検討を行

い、事業範囲や費用負担等に関して確認書を締結した。

また、万博関連事業である地下鉄中央線の延伸や万博開催中の輸送力

の増強について、大阪市、大阪市高速電気軌道株式会社との協議を行っ

た。

万博開催時の自動運転の導入可能性などについて、阪神高速道路株式

会社とともに調査を実施した。